

「港の風景」写真コンテスト2020

—豊かなウォーターフロントフォトコンテスト—

本コンテストは、写真を通じて海辺や港の四季折々、津々浦々の姿を表現していただき、ともすれば港と疎遠になりがちな方々に対してその素晴らしさを再認識していただくと共に、ウォーターフロントの景観への意識を高めることを目的としています。

今年で29回目の本コンテストには、303点もの応募がありました。いただいた作品に対して令和2年10月12日に厳正なる審査を行った結果、次のとおり素晴らしい入選作品を決定させていただきました。

総
評

このコンテストは「海の日」の行事の一環として、写真を通して日本のウォーターフロントの姿を多角的な視点で見つめた作品を募集し、多くの人々にその役割と魅力、重要性を伝えたいという趣旨で実施されているのですが、今回も沢山の力作が寄せられ、熱の入った審査会となりました。

前回同様、「みなとの活動」「防災」「賑わい」「自然・歴史」の4部門での募集でしたが、今年はコロナ禍のため、毎年多くの応募のある海辺での祭事やイベント、スポーツ大会などが中止され、華やかで活気のある光景があまり見られず淋しい気がしましたが、それでも、全体の応募数はほとんど減少しなかったのは嬉しい限りで、逆に、港や海岸の景観、港で生きいきと働く姿、貿易港の活気のある様子、歴史的な遺産等を格調高く捉えた作品が多く見られ、全体的にとってもレベルの高い内容になったのは嬉しいことです。

次回も広い視点で見つけた新しいウォーターフロントの作品を期待しています。



最優秀賞
国土交通大臣賞
中野金吾
丸太筏を組む
新潟西港



新潟西港は木材の輸入港として有名なのでしょう。応募作品に多く見られるテーマです。外国からの木材運搬船から海上に投下された原木を数隻の小型船で集め、筏に組んでいる作業で、この後、水面貯木場に運ばれるのです。大型運搬船を背景に、丸太の上でバランスをとりながら作業をする人々の、リズムカルな動きがよく捉えられていて、仕事場の臨場感がストレートに伝わってくる秀作です。



細田邦昭 お台場港
オリンピックを待つ港
 国土交通省港湾局長賞



オリンピック開催の年を祝って、年の初めに開催された花火大会なのでしょう。前景に五輪マークを印象強く配し、色とりどりの光に照らされたレインボーブリッジと東京タワー、そして豪快な花火をバランス良く写しこんで、実にすっきりとした画面構成に仕上げたのが見事で、水面に映るにじんだ色の描写がファンタジックな雰囲気盛り上げています。



藤原敏明 重井港
瀬戸の航跡
 (公社)日本港湾協会会長賞



以前は島全体で除虫菊の栽培が盛んだった因島。今は少なくなったようですが、ここ重井港を見下ろす高台には一面除虫菊の花が咲き、ワイドレンズで、花の香りが感じられるように接近して撮影した画面づくりが上手で、夕暮れの重井港のファンタジックな光景を見事に表現しています。長時間露光で船の光跡を写しこんだのも良く、夜の瀬戸内の静かな時の流れが感じとれます。

最近は天候異変が多く、災害の折によく活躍するのがヘリコプターによる人命救助。そんな様子をテレビニュースで見る機会が多くなりましたが、これはその訓練の様子を、快晴の中で行われたこともあり、実に迫力のあるダイナミックな画面構成で捉えています。横浜港での水上救助訓練のようですが、緊張感が伝わってきます。



港湾海岸防災協議会会長賞
平野昌子 横浜港



みなとの活動部門賞
後谷弘 富山新港
黄昏時

輸出を待つ車のモータープールを前景に、埠頭に停泊した照明に浮かび上がるコンテナ船と、赤と白でデザインされた巨大なガントリークレーンを紺碧の色調の中に、端正な造型美で浮かび上がらせたのが上手で、夕暮れの富山新港の様子を格調高く表現しているのに感心します。撮影時間の選定が適確なため、夕暮れの情緒が良く表現されているのです



防災部門賞
迫る大波

山西典夫 ヤ・シイパーク



高知県香南市手結港だそうですが、タイトルからすると対岸も含め港の周囲が憩いの場になっていて、天気の良い日にはつり人などで賑わう場所なのでしょう。そんな場所もひとたび海が荒れると恐ろしい光景に一変します。防波堤のおかげで湾内は高波から守られ、実に静かな表情をしています。防波堤の役割を端的に表現した作品といえるでしょう。



賑わい部門賞
Holiday

長谷川裕二 佐世保港



佐世保港の離島航路のフェリーターミナルを望む光景だそうです。公園のように美しく整備された埠頭ですね。冬の陽に照らされ、レンガづくりの歩道を散策する人々とそのシルエットから活気が感じられ、見ているとうきうきとした気分になるような明るいイメージの作品です。親水性に配慮して設計された埠頭だそうです。実にのどかで美しい風景です。



ずいぶんと貫禄のあるクレーンだと思ったら、何と、明治の近代化を支えた産業遺産（造船業）のハンマーヘッドクレーンで、横浜港新港ふ頭に保存されているとのこと。ライトアップされて立つクレーンの重量感と構造美が素晴らしい調子で表現されているのが見事で、客船の出港に合わせて撮影したそうですが、実に格調の高い作品になっていると思います。



自然・歴史部門賞
松山進 横浜新港ふ頭
船を見送るレガシー



夜の工場地帯の見学ツアーに人気があるようですが、この四日市港の夜景も素晴らしいですね。桜の花と、ツーリングで訪れた若いカップルを前景に、宝石をちりばめたように美しくライトアップされた工場の景観を、満月と共に納めたフレーミングが抜群で、水に映る光のにじみもロマンチックな夜の雰囲気をかもし出しています。桜の花に軽くストロボを同調させたのでしょう。見事な技です。



優秀賞
島崎守 四日市港
春月の岸辺



西山昌敏 横浜港本牧ふ頭沖
海上からの地盤改良工事
優秀賞



海面に整然と立ち並ぶ巨大な構造物。埋立工事の最初の工程となる、海底の地盤を固める杭打ち作業を行っている地盤改良船の風景とのこと、大きな船の上から近づいて撮ったのでしょうか。杭打ち機の構造が克明に描写され、広角レンズの効果で遠近感が強調されたことで迫力のある画面構成になっています。



道信啓子 塩浜
ウォーターフロントの風
優秀賞



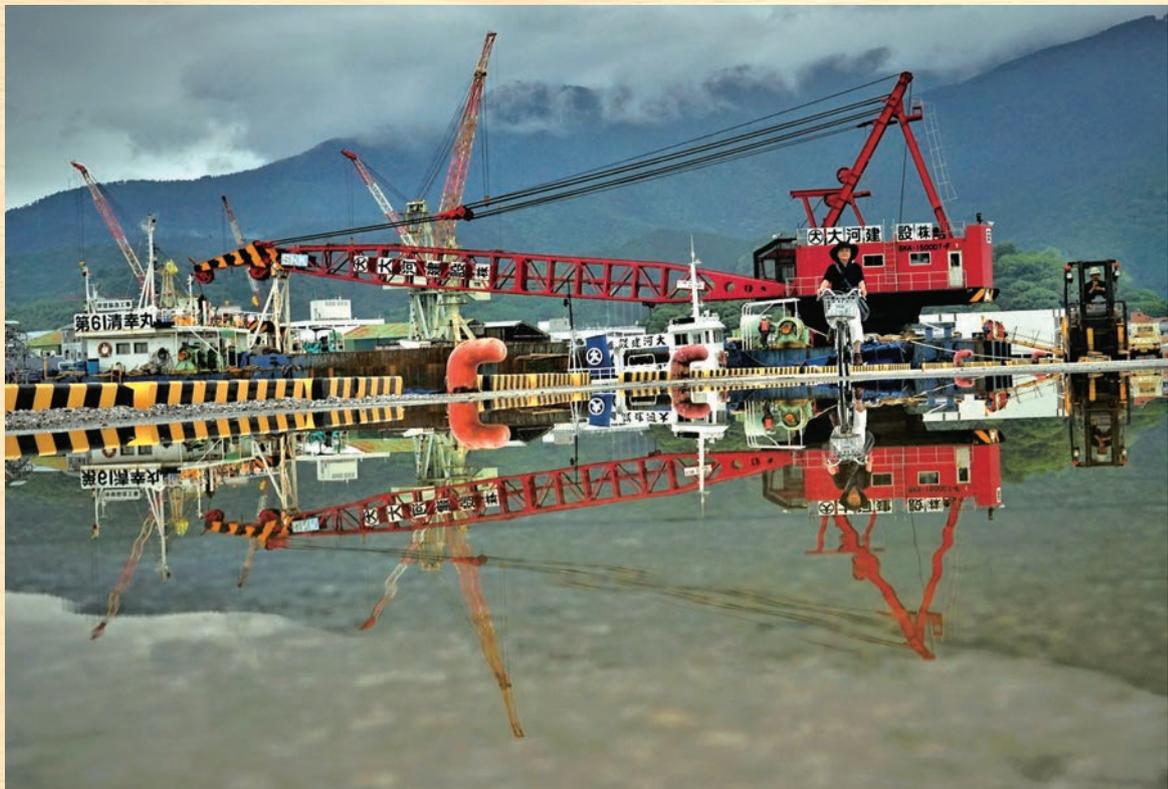
江東区の塩浜から運河越しに望む近代的なタワーマンションと奥のオフィスビル群。直線を組み合わせ、幾何画法で描いたように画面構成した視点が素晴らしく、ビルの中から望む青い空と白い雲、そしてタワーマンションの通路なのでしょう、オレンジ色に照明されている水辺の通路が雰囲気を和らげています。運河ぞいに発展する新しい街の姿の発見といえるでしょう。



優秀賞
佐藤孝
夜の訪れ

新潟港西港区

朱鷺メッセビルからの撮影だそうですが、新潟港を望むには最高の場所なのでしょう。手前に佐渡汽船ターミナル、遠方に新日本海フェリーの埠頭を望む、実に雄大で美しい港湾風景を創り上げています。出港したばかりのフェリーをタイミング良く写しこんだことで静かな中に活気が感じられ、夕暮れのゆったりとした時間が流れているようです。



優秀賞
白石信夫
雨上がり

宇和島港

岸壁に停泊する起重機船。赤いクレーンが岸壁の水溜りにくっきりと写りこみ、トリックアートのような上下対象の不思議な光景をつくり上げているのがおもしろく、雨上りの情景をファンタジックな作品に仕上げたカメラアイに感心します。自転車の女性を配したのも良く、遠景の霧にけむる山並みの描写も雨上りの情緒を盛り上げています。

入選

ご覧の通り、今年は海辺でのイベントがほとんど中止されたにもかかわらず、バラエティのある優れた内容の作品が多く、全体のレベルの高さに感心します。そして、あらためて海に囲まれた日本だからこそその人と海とのかかわりの深さと多様さを実感させられる作品ばかりで、上位入賞作品と比べても甲乙つけがたい作品ばかりです。

毎回のことですが、選外作品には横浜港や神戸港など華やかで大規模な施設を撮った作品が多く、以前応募されたものと類似した構図も多く見られます。

次回は、より身近な海にも眼を向けていただき、あなたが発見した新しいウォーターフロントの姿を見せていただきたいと思います。

大久保紘季
再開の時を待つ



喜久元健治郎
平家もののふの伝承835年
田久日の夜



加藤明彦
クルーズ船を迎えて



大西宏徳
水面神秘



友金マリ
清水港の120年



カマタニヒサト
台風19号過



上杉裕昭
海の安全を願って





入選
渡辺駿介
港へのSライン



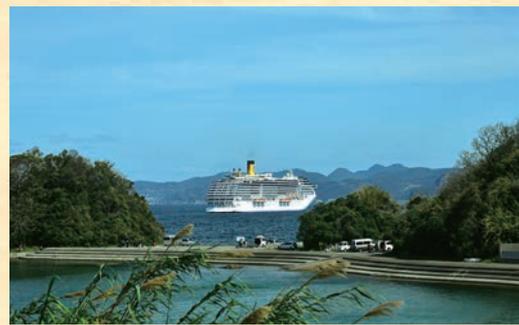
入選
道信タケオ
港の積載作業



入選
三浦一泰
みなと塩竈ゆめ博



入選
山下孝治
日曜の朝、10時



入選
鹿島秀夫
冬を彩る



入選
茶山昌子
光る車



入選
植木喜晃
シャボン玉ホリデー



入選
飯田忠雄
ひととき



入選
村上雅巳
荒波から守る



入選
山田宏作
自然の避難港



橋本幸司
入選
公共ふ頭の夜明け



藤井智子
入選
八幡坂より



小高紘佑
入選
船舶整備



大高久昌
入選
漁港の秋祭り



清水進
入選
冬光往来



間瀬幾雄
入選
聳えるクレーン



主催
(公社)日本港湾協会
港湾海岸防災協議会
後援
国土交通省
協賛
(一社)日本旅客船協会
(一社)ウォーターフロント協会
(一社)日本外航客船協会
(一社)日本マリーナ・ビーチ協会
(一財)みなと総合研究財団
(一財)港湾空港総合技術センター
富士フィルムイメージングシステムズ(株)

審査員 (順不同・敬称略)
齋藤 潮 <東京工業大学大学院教授>
廻 洋子 <敬愛大学特任教授>
富岡哇草 <写真家>
松野正雄 <写真家>
逸見 仁 <写真家>
安部 賢 <国土交通省港湾局海岸・防災課長>
松良精三 <国土交通省港湾局海洋・環境課長>
須野原豊 <(公社)日本港湾協会理事長>

入選
友金マリ「清水港の120年」
カマタニヒサト「台風19号過」
上杉裕昭「海の安全を願って」
喜久元健治郎
「平家もののふの伝承835年 田久日の夜」
加藤明彦「クルーズ船を迎えて」
大西宏徳「水面神秘」
大久保紘季「再開の時を待つ」
道信タケオ「港の積載作業」
山下孝治「日曜の朝、10時」
茶山昌子「光る車」
飯田忠雄「ひととき」
山田宏作「自然の避難港」
三浦一泰「みなと塩竈ゆめ博」
鹿島秀夫「冬を彩る」
植木喜晃「シャボン玉ホリデー」
村上雅巳「荒波から守る」
渡辺駿介「港へのSライン」
藤井智子「八幡坂より」
橋本幸司「公共ふ頭の夜明け」
大高久昌「漁港の秋祭り」
間瀬幾雄「聳えるクレーン」
小高紘佑「船舶整備」
清水進「冬光往来」

国土交通大臣賞
中野金吾「丸太筏を組む」(新潟西港)
国土交通省港湾局長賞
細田邦昭「オリンピックを待つ港」(お台場港)
日本港湾協会会長賞
藤原敏明「瀬戸の航跡」(重井港)
港湾海岸防災協議会会長賞
平野昌子「命を守る」(横浜港)
みなとの活動部門賞
後谷弘「黄昏時」(富山新港)
防災部門賞
山西典夫「迫る大波」(ヤ・シィパーク)
賑わい部門賞
長谷川裕二「Holiday」(佐世保港)
自然・歴史部門賞
松山進「船を見送るレガシー」(横浜新港ふ頭)
優秀賞
島崎守「春月の岸边」(四日市港)
西山昌敏「海上からの地盤改良工事」(横浜港本牧ふ頭)
道信啓子「ウォーターフロントの風」(塩浜)
佐藤孝「夜の訪れ」(新潟港西港区)
白石信夫「雨上がり」(宇和島港)